

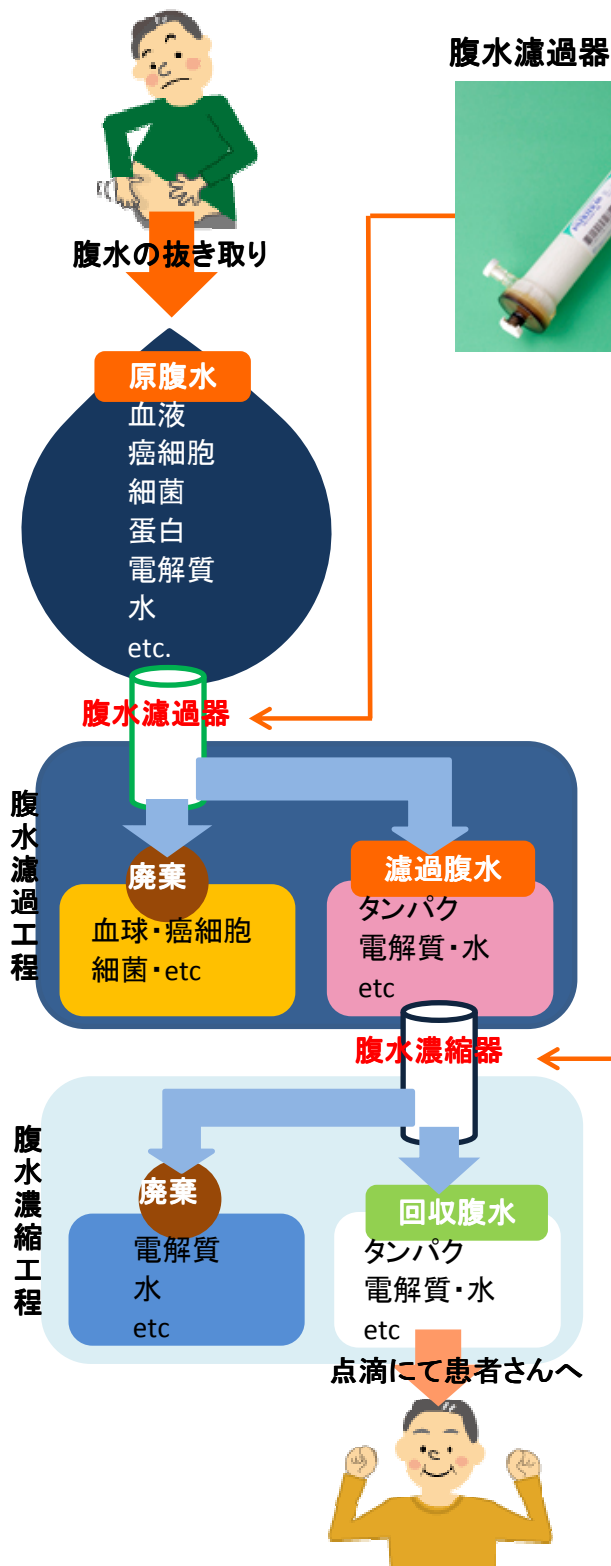
# KM-CART療法

## (腹水濾過濃縮再静注法)

お問合せは  
貝塚病院 内科外来  
代表 092-632-3333  
FAX 092-632-2230

### KM-CART療法とは

KM-CART療法とは、癌による難治性腹水で溜まった腹水(又は胸水)を取り出し、濾過器を用いて細菌や癌細胞等を除去した後、アルブミン等の有用なタンパク質を濃縮して再び体内に戻す治療法です。単なる腹水除去では一時的に腹部膨満感や呼吸苦は軽減しますが、タンパク成分の損失により栄養状態や免疫状態を悪化させます。腹水が溜まると食べられない、腹水を捨てると栄養状態が悪くなる、このようなジレンマを解決するのがKM-CART療法です。



腹水濾過器



腹水濾過器は腹水中の細胞成分(赤血球、癌細胞、細菌等)などと、タンパク質(アルブミン等)・電解質・水などの分離に適した大きさの細孔が開いています。腹水濃縮器は人工腎臓と同程度の除水に適した大きさの細孔が開いています。また、細胞類(血球成分、癌細胞など)は透過しません。

多用途血液処理用装置



腹水濃縮器



ポリスルホン中空糸膜の腹水濃縮器は、すぐれた限外濾過能を有し、短時間で濃縮行程が施行できます。濾過腹水を約10分の1に濃縮します。

腹水濾過器と腹水濃縮器を組み合わせることで、原腹水を必要なタンパク濃度に濃縮します。

## 代表的な適応

胃癌、大腸癌、卵巣癌、肝硬変等による難治性腹水

## 治療のメリット

明らかな副作用がなく安全に行えます。但し全身状態によっては施行できない場合があります。

頑固な腹部膨満感が解消し、消化管の血流が良くなるため、吐き気や呼吸苦が軽減されます。

抜いた腹水を少しも無駄にすることなく全量の栄養分を患者様の血管に戻します。

2泊3日入院で治療しています。引き続き緩和ケア目的で入院維持可能です。

一般的に腹水は、「抜くと弱る」といわれていますが、腹水を抜いた後も栄養状態や免疫状態を維持できれば、腹水による様々な負担を軽減することができます。

腹水による腹部膨満感や呼吸苦を少しでも軽減し、患者様の症状緩和に協力できればと考えています。



内科部長 村島史朗

**※健康保険が適用されます。**

手技料 2,810点 (28,100円)

材料価格 6,240点 (62,400円)

～川澄化学工業(株)ホームページ参照～

貝塚病院ホームページ [www.kaizuka-hosp.or.jp/](http://www.kaizuka-hosp.or.jp/)